

おれんじの屋根

施設長より

「障がいのある人への理解を深めるには」



少し前に、障がいのある人への理解や共生社会の実現について、西会長と話をするがありました。H18年12月の国連総会での「障害者の権利に関する条約」の採択以降、障がいのある人に関する国内の法令や制度等が急速に整備され、障がいのある人を取り巻く環境は、大きく改善されてきています。では、社会や一般の人々の、障がいのある人に対する理解は深まっているのか？ 共生社会に向けて前進しているのか？と。

私は、理解は少しずつ着実に進んでいるかも知れないが、そんなに急には変わらないと思っている、そもそも、一般の人たちにとっては、障がいのある人のことはそんなに興味がないor薄い、というのが現実ではないかと述べました。

私自身は、障がいのある人への理解を深めるためには、“直接的な出会いや関わり”こそが大切だと思っています。たまたまであってもいいので、“直接的な出会いや関わり”があって、その体験が、何となく心地よい温かみを感じるといった肯定的なものなら、それが、その人の心の中で、関心や理解の土台になっていくのではないかと、いわば、心に関心や理解の“たね”を蒔くことになるのではないかと考えるからです。

ですから、パラリンピックの開催が共生社会につながるという考えには、懐疑的な思いもありました。が、いろいろな人の感想や意見、さらに、「障害者への理解が向上する」という回答

が、開催後では20%も高くなったという調査結果を見るにつけ、障がいのある人との接点が少ない人たちが、知ったり関心を持ったりするという点では、少なからず意義があったのだと知りました。

大会運営のスタッフやボランティアとして参加する人たちなどにさまざまな“出会い”があり、それが障がいのある人に関心を持ったり理解を深めたりすることにつながるだろうと思います。無観客のためテレビで観戦や応援する人、ニュースなどで活躍を知って勇気づけられた人ももちろんたくさんいたでしょう。

一方、コロナ禍の中、私たちの身のまわりでの障がいのある人との“直接的な出会いや関わり”は閉ざされています。外部の方にお出でいただく「しょうぶの里まつり」も、小島小学校との交流やしょうぶの里利用者さんの地域行事への参加なども、1年半以上中止になったままです。

それでも、“直接的な出会いや関わり”をあきらめてはいけないと思います。どんなに遠回りになったとしても、めざす方向は、障がいのある人もない人も、のみならず、すべての人々が、互いに個性を尊重し合い生き生きと活躍できる共生社会。

先はかなり遠い感じはしますが、こういうコロナ禍での閉塞された状況だからこそ、希望を持って進んでいきたいと思っていますところです。



書き遊ぶ

「墓参り」

ゆうゆう会会長の瀬上です。この難しいとき、健康に気をつけてお過ごしください。



お盆に墓参りしました。それまでずっと大雨続きだったので遅くなりましたが、どこもそうらしく至る所、草が生い茂っていました。幾つか熊本地震以来崩れたままの墓石もあり無縁仏状態です。

昔、我が家の墓地は子飼の上河原にあり、子ども時代は母と市電（その頃は子飼まで市電が走っていました）で、墓掃除とお参りに行きました。一帯はうっそうとした森で道もなく目印の大木を目指して他人の墓をまたいでいきました。落ち葉を片付けて20ほどある墓石に一本ずつろうそくと線香を立ててお参りしたものです。

その後、河川工事のため市営霊園に移り、骨は一つの墓にまとめられました。少し遅くなりましたが掃除は格段に楽になりました。妻の実家は墓じまいして納骨堂になり、掃除もなくお参りのみになりました。ある親戚は永代供養にしてお参りもなくなりました。後々の供養に負担を配慮してか海への散骨も増えました。

少しずつ日本人が根無し草化するようで気になります。若い頃は少しも気にならなかったのですが…



※次々と新種のコロナウイルス株が出現するので、ゆうゆう会行事は完全に安全が確認されてから実施いたします。ご了承ください。

Take Out Lunch にんじんはうす編



サーロインステーキの
慕の内弁当♡

令和3年9月7日（火）
にんじんはうすでお弁当を購入後、谷
尾崎梅林公園で食べました。木陰で風
も心地よく、お腹いっぱいになりました！

残念ながら車酔い…
食べれず…（>＜）

完食で～す（^o^）／

Take Out Lunch 丸亀製麺編

令和3年8月25日（水）
丸亀製麺のTake outメ
ニューを購入し、熊本新
港の公園で食べました。
天気もよく、美味し
うどんを食べた後、散
策もでき、食後の運動
もばっちりです！

外で食べると
やっぱり美味しい！

さあ！食べろぞ！

天気もいいし、
ちょっとお散歩（*^^）

食後のデザート♡
どれにしようかな～

白くまコンテスト 結果発表

8月20日に行われました「白くまコンテスト」の
個性豊かな「白くま」が出来上がりました。利用者
さん、職員全員で、一番のお気に入りの「白くま」
に投票しました。一つだけ選ぶのがとても難しいく
らい素敵な「白くま」ばかりです。
気になる結果は・・・栗原さん、上村さんのお二
人が見事金賞に輝きました！



金賞
上村優子さん
栗原夜桜さん

かわいい
白くまが
できました
（^-）

あんなにっかりの
白くまです♡



熊本市手をつなぐ育成会 定期大会

令和3年度の熊本市手をつなぐ育成会
定期大会が9月2日（木）に行われま
した。今年度はYou Tube配信という形
で行われ、しょうぶの里でも利用者さ
んと定期大会を見る（参加）ことがで
きました。



皆さん、真剣に
視聴されていました！

給食室より

10月 イベントメニュー

10月 1日 誕生会

10月 11日 リクエストメニュー（昼食）

10月 29日 リクエストメニュー（昼食）
ハロウィンおやつ

かぼちゃのランタンでハロウィン

かぼちゃは夏野菜ですが、甘みが増してとてもお
いしくなるのが秋。そのうえβカロチン（βカロチ
ン）などの栄養素も多く含まれていますから、健康
を保つための食材としても重宝されています。煮て
も焼いてもスープでも天ぷらだって最高！（個人見
解）です。

一方、ハロウィンではかぼちゃでランタンを作り
ますが、これは悪霊を払うための魔除けとして使わ
れるものです。ハロウィンの後、以前は家庭で食材
として再利用されていましたが、最近では捨てられ
てしまうこともあるようです。

栄養士 齋藤憲子

医務室より

秋に起こりやすい感染症について

秋に流行る感染症として、マイコプラズマ肺炎や
RSウイルス感染症があります。どちらものどや気
管支炎、肺といった呼吸器に炎症を起こす病気で
す。

しかし一般の細菌と少し構造が異なります。細
胞壁がなく、細胞膜のみに囲まれています。治療
法として抗生物質の処方となります。ほぼ軽症の
ため風邪と区別が付きません。

今、猛威を振るっている新型コロナウイルス感
染症も呼吸器系の病気です。なるべく発症しない
ように人混みを避け、栄養バランスの良い食事を
心がけましょう。

マスクを着けよう
手洗い・消毒しよう
3密を避けよう
こまめに換気・消毒しよう



看護師 齋藤展

《10月の行事予定》

- ☆ 1日（金） 誕生会
- ☆ 4日（月） 職員会議、給食委員会
- ☆ 7日（木） 訪問歯科
- ☆ 12日（火） テイクアウトランチ
- ☆ 14日（木） 訪問歯科
- ☆ 18日（月） 研修会
- ☆ 19日（火） テイクアウトランチ
- ☆ 21日（木） 訪問歯科
- ☆ 26日（火） テイクアウトランチ
- ☆ 28日（木） 訪問歯科
- ☆ 29日（金） ハロウィン仮装パーティー

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

たまには読書の秋もいいかなと…
最近では本を読むということがめづ
う減り、字が読めない状態です。若い時
はその当時流行りの「赤川次郎」「星
新一」「シンドニー・シェルダン」「猪
辺洋一」「村上春樹」等読みあさり、
何を思ったか、司馬遼太郎の《竜馬が
ゆく（全8巻）》を手にしたこともあり
ました。

近くの書店で、何分面白い本がない
かなと探していたら全国書店員が選ぶ
「本屋大賞」というコーナーで見つけ
たのが、野田高梧の二巻『52ヘルツの
クジラたち』、伊予原新著『八月の
銀の雪』、伊吹有喜著『犬がいた季
節』がお薦めとして紹介されていま
した。今秋に読破できればと思ってい
ます。

～第53号～

令和3年9月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

